片貝新聞

発行所
片貝新聞社
〒947-0101
小千谷市片貝町10367-4
TEL　0258-84-3246
FAX　0258-84-2632
編集発行人　吉原芳郎
印刷所　吉原印刷㈱

題字　黒崎敬淙氏

JA片貝町
シンボルマーク
天の恵み地の恵み

バスケ、バレー、卓球
やったぞ！片中健児!!
中学校中越大会で上位入賞

中越地区中学校の各種体育大会が7月12、13の両日各会場で開催され、片貝中学校はバスケットボールが準優勝、バレーボールが3位入賞、卓球団体も3位入賞と期待どおりの好成績をあげて26、27の両日各地で開催された県総合体育大会へ駒を進めた。ソフトテニスは健闘むなしく、県大会に駒を進めることが出来なかった。

バスケットボール

中越地区大会は小出郷体育館で開催され、片貝中は1回戦は旭岡中と対戦して68対30、2回戦も葵中を61対36の大差で難なく下し、準決勝戦に進み堤岡中と対戦し前半46―18と大きくリード、後半もリードをたもち72対39で決勝進出。東北中との決勝戦は、前半22―26と差をつけられ苦戦。片中は後半に猛追したが、45対52で敗れ、準優勝で県大会へ駒を進めた。

中越大会を終えて

バスケ部主将　安達勇二郎

7月の12、13日に小出郷体育館で中越大会が行われた。決勝戦まで順調に勝ち進み、決勝戦東北中とあたり惜しくも敗れてしまった。しかし県大会へ進むことができた。県大会では、北信越大会へ進めるようにがんばりたい。

メンバーは次のとおり
▽安達勇二郎、藤塚明史、小比田俊樹、吉井亨、吉原洋、小野塚昂平、石上崇博、本多儁、佐藤洋平、吉田豊、安達富昭、小林孝広、山田貴弘、黒崎諒、大矢智史

バレーボール

中越大会は長岡市南部体育館で開催され、片貝中は予選トーナメント戦で片貝中2―0六日町中、片貝中2―0越路中の圧勝で決勝リーグ戦進出片貝中1―2栄中、片貝中2―0田上中、片貝中0―2旭岡中の成績で3位入賞で県大会に駒を進めた。

県大会でがんばること

バレー部　高橋ひと美

県大会では、部員全員で一つになって声を出し、レシーブで最後まであきらめずにつなぎたいです。

そして、上の大会を目ざして、自分達の力を全て出しきり、強気で戦いたいと思います。

メンバーは次のとおり
▽金子沙友里、山賀紗織、安達夕貴、友田宏美、安達彩乃、小宮志織、芝美波、高橋ひと美、安達千紘

卓球団体

中越大会は三条市総合体育館で開催され、片貝中は片貝中3―2三島中、片貝中3―2東北中の2勝で決勝リーグ戦進出片貝中0―3青葉台中、片貝中0―3川西中、片貝中0―3栄中の成績で3位入賞で県大会に駒を進めた。

中越大会を終えて

卓球部　浅田時枝

毎年目標だった「団体戦県大会出場」が今年やっと果たせてよかった。試合ではみんな緊張して手足が動かず大変だったけど応援の声が力になりこの結果になったと思う。今まで一生懸命練習してきてよかった。

メンバーは次のとおり
▽浅田時枝、石上麻衣子、山口麻由、吉原仁美、安達加代子、安達真梨子、小野塚唯、佐藤美希、佐藤文香、山口茜

ソフトテニス

中越大会は見附市運動公園で開催され、片貝中は一回戦中之島中と対戦して、1対2とせり負けて涙を飲んだ。

県大会での各部の結果は

▽バスケットボールは豊栄市で行われ片中50―38船栄中で一回戦勝利、片中41―55本丸中で二回戦敗退、▽バレーボールは新発田市で行われ片中0―2巻西中で一回戦敗退、▽卓球は小千谷市で行われ片中2―3新井中で一回戦敗退、共に健闘むなしく、上位大会への進出はならなかった。

主張

盆踊りについて

このところ盆踊りに対し多くの投書が寄せられているが、投書人の名前がなく（匿名希望者は別）貴人上掲載しないことにしている。投書の何れも以前と比べ踊り手の減少したことや太鼓と踊り、唄が合わない、調子のまったく違う独善的踊りで周りの雰囲気を壊すなど多くの指摘だけに、誠にご無理ご尤も反論の余地はない。

しかし逆に主催する当事者の立場からみてもまったくこの指摘と同様の悩みがあり、何とか改め往年の賑やかさを取り戻したいと考えてはいるが現実は意外に厳しく、このまま絶やさずに継続することに汲汲とし、毎年時節になると拝み倒すようにして曲がりなりにも行なっているというのが本音であろう。

片貝ではこの盆踊りだけでなく、祭りにしても或いは日常生活のこと、将来の片貝のあり方などについても陰では多くの意見がきかれるものの、これが表面だった動きとしてみられないのはいま初めてのことではない。はるか昔はいざ知らずこのところずっと続いていることであり、町民性として変革を好まぬ方向にあるのかも知れない。あるいは出る釘は打たれるの譬通りおとなしくしているほうが得ときめこんでいるきらいもある。事実異論を吐くと爪弾きにされかねない。

誰かの言葉に「変革なきところに進歩なし」というのがあるがさしづめ片貝人にあてはまりそうな気がする。これは何も指導的立場にある人だけでなく一般町民にもこの積極性が不足しているもので、どっちもどっちというべきであろう。

中学校卒業までは学業、体育ともきわめて積極的であり優秀なのに、一般社会人になると特定の人を除きどうも動きが散漫になり、普通の人またはそれ以下になってしまうのはどこに原因があるのか。社会人になると無気力、消極的になるとすれば大いに考えさせられることである。

政治、経済、官界はおろか一般家庭まで制度疲労をきたし日本全体がおかしくなっていて、なにも片貝に限ったことでないようだが、手放しで喜んでいられる現状ではない。特に片貝を取り巻く周辺市町村と比較して劣っていると自覚し（事実片貝の人は変わっているといわれる）その対策に踏み切るべきだと思う。

先頃教育国民会議が教育のあり方について大胆に提言した。提言では家庭のあらゆる教育の原点とし、各家庭ごとの「しつけの三原則」の提唱、また共同生活による奉仕活動の義務づけ、小、中学校二週間、高校一ヵ月、将来的には満十八歳のすべての国民に一年間の奉仕活動を設け、森林整備、高齢者介護などのボランティア活動を進める一方、地域社会や親に対してもその模範となる行動を求めている。ということは我々にも社会人として責任ある生活態度が要求され年齢に関係なく共同生活に参画して行かなければならない。この際片貝の現状を把握し迅速な対応をして行きたいものだ。

春季ゲートボール大会
第五ヤヨイ会Aが優勝

平成12年度片貝町春季ゲートボール大会が去る6月29日㈭、片貝町公民館主催で、浅原神社ゲートボール場で開催された。

真夏日となった当日、片貝町の各ヤヨイ会で編成された、9チーム60名前後が参加して、午前8時30分から午後1時30分まで、第一コート、第二コートで予選リーグ戦が行われ、午後2時から行われた決勝トーナメント戦では一・二コートの上位2チームの計4チームで熱戦が繰り広げられた結果、2戦全勝の成績で第五ヤヨイ会Aが優勝杯を獲得した。吉原公民館々長は挨拶の中で「8月にはこども会との交流ゲートボール大会を開催しますので、多数の参加をお願いします」と語っていた。

成績は次のとおり。
▽①第五ヤヨイ会A（安達栄次郎、吉井泉、安達三郎、安達初江、清水トミ、安達セツ、写真）②町裏ヤヨイ会、③鴻巣ヤヨイ会

兄貴分（中学）に続け
ミニバスも頑張り準優勝

新潟県ミニバスケットボール選抜優勝大会第13回東北電力旗ミニバスケットボール中越地区大会（東北電力など主催）が去る6月24、25の両日長岡市南部体育館を主会場として開催され、片貝スーパーボーイズが準優勝した。

片貝スーパーボーイズは一回戦は信江JBCを52対23、二回戦も川崎東JBBを52対22の大差で下し、準決勝の岩塚すこ〜んぶ戦は前半10―10の接戦、後半19―16と勝ち越し29対26で決勝進出。越路Jrとの決勝戦は、前半7―20と大きく差をつけられて苦戦、後半18―6と猛追したが及ばず25対26と一点差で敗れ準優勝。

片貝スーパーボーイズは現在小学校一年から六年までの十三名で、日曜日は午前9時から正午、火・木曜日の午後7時から午後9時までの週3回、次の大会での優勝をめざして、猛練習を行っている。そのメンバーは次のとおり。（）内の数字は学年。敬称略。

▽高野文彬(6)、黒崎廉(6)、浅田将吾(6)、吉原紀人(6)、小野塚巧(6)、大矢拓良(6)、吉原智哉(5)、安達峻真(4)、小野塚歩(4)、米山瑞樹(3)、黒崎海斗(1)、吉井康平(1)、横山亮太(1)。

ロイヤルが優勝
片貝野球連盟主催の第31回お盆野球大会が去る7月9日午前8時45分から片貝スポーツ広場野球場で開催された。

今年の大会はとなかい・レッド・ロイヤルの3チームが参加して、総当たりのリーグ戦が行われ、▽第一試合＝となかい対レッドは3対3の引き分け、▽第二試合＝となかい対ロイヤルも1対1の引き分け、▽第三試合＝ロイヤル対レッドは2対1でロイヤルが勝ち優勝杯を獲得した。優勝チーム「ロイヤル」のメンバーは次のとおり。（敬称略）

▽藤塚欣一、安達和弘、金子等、山口広幸、太刀川孝紀、小宮文男、安達孝人、石黒辰夫、安達健介、安達淳、小野塚誠、黒崎啓午

JA片貝町のふれあいソフトバレー

JA片貝町ふれあいソフトバレーボール大会がJA片貝町・片貝町公民館・片貝町体育協会共催で今月の6日(日)午後1時から片貝中学校体育館で開催される。

▽参加資格＝JA片貝町の区域内に居住者か勤務者。

▽チーム＝18歳以上。男子チームには40歳代1名以上と50歳代1名以上がプレーに加わること。その他詳しい事については、JA片貝町へ。

かたかい春秋

夏真っ盛り。

うだるような日が多いが、読者諸氏は夏バテなどしていないだろうか。▼小学生も夏休みが始まり、イキイキと日を送っていることと思う。宿題はきちんとやらねばならないが、夏休みなのであるから、勉強はほどほどでいい。長期休みでなければ出来ぬことに挑戦してみるべきだ。自然を体験して、自然の大きく不思議な仕組みを知ることも有意義だ。自然に対する畏敬の念が生じれば最高だ。▼「わんぱくでもいい、逞しく育ってほしい」とかつてテレビコマーシャルで流行したま

故郷片貝を想う絆

東京片貝会今年も盛況
地元片貝から市長等も

東京片貝会（阿部修次会長）は第41回定例総会を去る7月2日、「カンポヘルス東京」で開催した。

当日は首都圏を中心に遠くは静岡県から駆けつけた人もあり、80歳代から40歳代までの幅広い同郷人72名（内女性23名）が集まり、片貝からも関広一市長、吉井陽片貝町協議会長、吉原正幸市議等8名が加わり賑やかな会合となった。

総会の席上今年も片貝町の子供たちのために、と当日出席した、斎数行高中学校教頭と滝沢清詩小学校教頭に図書券がプレゼントされた。両教頭はそれぞれの立場でお礼を述べ、図書券の利用状況を報告した。

関市長は挨拶の中で「今年の片貝まつりの9月9日に牛の角突きが小千谷会場で開催されるので、片貝まつりに帰京の際は、本州でただ一ケ所開催している、重要無形文化財に指定の小千谷闘牛を見て」とPR。また、吉井協議会長は「けやき園・忍字亭の運営特別寄付金集めの活動について、多額の寄付金、誠にありがとうございました。忍字亭も常時管理人がおりますので、片貝にお越しのせつには是非お立寄りください」と挨拶。

片貝商工振興会事業部は今年も会場の一隅で郷土特産即売会を開催して、ようかん、藍染め、米菓など懐かしいふるさとの味を届けていた。また、JA片貝町では10数年前から行っている、地元産コシヒカリプレゼントを今年も行い、出席者全員に手渡された。

フィナーレはいつものように、全員で唄う木遣りが会場いっぱいに、歌声が広がり幕となり、今年も強い絆を確かめあった。

行ってきました！ジャイアンツ観戦ツアー

熱烈応援なれども今年は惜敗

片貝町のジャイアンツ狂有志で組織の「長嶋ジャイアンツ応援グループ」は7月8日㈯東京ドームでの巨人対中日戦の観戦ツアーを行った。

今年で10回目の観戦ツアーは、すっかり人気定着、今回は夏休み前で子供たちの参加は例年より少ないものの、70名前後の参加者は大型観光バスと自家用車に分乗してドーム入り、熱狂的応援もむなしく3対2で巨人は負けた。これで片貝勢が応援に駆けつけた試合の通算成績は7勝3敗となった。主催者は「今年のツアー参加者の中に松井選手の投げたサイン入りのボールが目の前に飛んで来て、手に入れた幸運な人もいたし、また球団関係者から巨人グッズがツアー参加者にプレゼントされたり、清原選手や桑田選手等に逢えた事で今年の観戦ツアーは大成功でした」と語っていた。

中学生対象に
盆踊り講習会

民踊の会が指導

片貝公民館主催の「盆踊り講習会」が9日㈫午後7時～8時30分まで片貝スポーツセンターで開催される。

この催しは毎年中学生を対象に行っているもので、今年も片貝民踊の会の指導で行われる。希望者は動きやすい服装と運動靴で参加。尚、主催者は「暑いので、ハンカチ、タオルなども必要です。終了後には冷たい飲み物も用意しておきます」と語っていた。

盆踊り募集

チーム対抗
仮装大会

去る7月4日㈫片貝公民館二階ホールで町民盆踊り実行委員会が開催され平成12年度片貝町々民盆踊り・仮装大会の要領が次のとおり決定した。

▽**盆踊り**は8月15㈫・16㈬の両日。浅原神社境内。タイコ打ち始めは午後7時30分～。踊り開始は午後8時からで終了は午後10時。但し中学生以下は午後9時。

▽**チーム対抗盆踊りコンテスト**は1チーム10人以上でプラカード持参。全員が揃いの衣装。1位～3位まで賞品、4位以下は参加賞。審査は15日午後8時30分から午後8時50分。

▽**仮装大会**の参加資格は年齢・性別・個人・団体不問。総合最優秀賞は優勝旗（持ち回り）。参加者には賞品。審査は15日午後8時30分から午後8時50分。チーム対抗盆踊りと仮装大会は15日が雨天の場合は翌日16日に実施。その他のお問い合わせと参加申し込みは片貝公民館☎84―2026へ。

片貝中の教育を語る

保護者から好評の声

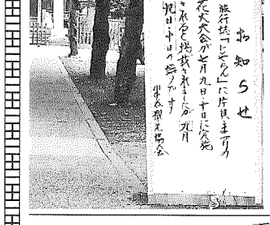
「教育を語る会」が去る7月17日㈪午後7時30分から片貝中学校で開催された。

この催しは子供達が学校の一日の流れの中で、どのような生活をしているか、知るための会で、70名の保護者が参加して行われた。当日文化部の生徒が撮ったものや先生が撮影した95枚のシートとビデオを編集して、朝の登校風景から始まり、生徒朝会や授業の様子、今年から始まった給食を食べている姿、放課後生徒たちが部活動や生徒会活動にイキイキと取り組んでいる姿等、学校でのさまざまな様子をナレーション入れの映像で紹介された。95枚のシートとビデオを見おわった保護者は「授業参観や行事で子供を見る程度だったのが、学校の流れの中で、どんな生活をしているかがよく分かった」と大好評。また、館岡信男校長は「夏休みに向っての生活のきまりについて、学校側から説明したり、保護者との情報交換ができ大変有意義な一時でした」と語っていた。

片貝まつりは7月に変更？
「じゃらん」で一騒動ある

去る7月10日㈪誰もいない、浅原神社境内に写真の立て看板があったので不思議に思い調べてみた。

それによると：各地のまつりやイベントの情報誌の「じゃらん」7月1日号（6月15日発売）に片貝まつりが写真入りで大きくとりあげられたが、開催日が7月8日～10日と紹介されたので、問い合わせの電話が、「じゃらん」に電話番号が記載された小千谷観光協会に殺到、二百件近くあったとのこと。



「じゃらん」は7月1日発売の7月15日号で訂正を出したものの、7月1日号のみの情報で7月9日片貝まつりを見に、実際に片貝を訪れた関東方面の人がいたとの事で、観光協会では急遽7月9・10の両日立て看板を浅原神社の参道に設置したとのこと。

片貝煙火協会にも片貝まつりの常連客から「いつから日程が変更となったのか」「日程変更は本当か」などの問い合わせが6月中旬頃から殺到してその対応に大変だったとのこと…改めて片貝まつりの人気の高さを物語ることになった。

小千谷歌謡発表会

片貝からも複数出演
6日6時半から市民会館

小千谷歌謡会の第12回チャリティー歌謡発表会が6日㈰午後6時30分から市民会館大ホールで開催される。

この催しは、二部構成の会員による歌唱の他に、アトラクションとして紀線会による三味線合奏。共催の片貝藤会による踊りが花を添える。発表会実行委員長の安達保さん（一之町二区）は「片貝から4名の歌手とし藤会の皆さんが出場しますので片貝の皆さんの多数ご来場を。そしてチャリティーにご協力をお願いします」と語っていた。

「片貝大花火音頭」発表会

15日夜浅原神社境内で

片貝まつり実行委員会（安達良一会長）主催の「片貝大花火音頭」の浅原神社奉納と発売記念の催しが今月の15日㈫午後7時30分から浅原神社境内で行われる。

♪揃い袢纏お祭り屋台♪で始まる「片貝大花火音頭」の作詞は中村美智子氏、作曲は山波はるか氏によるもので、唄は7年前に「想い出ぼたん」でデビューして、現在「望郷」などの唄で活躍中の歌手中山あかりさんが唄い、去る7月25日徳間ジャパンから発売された。

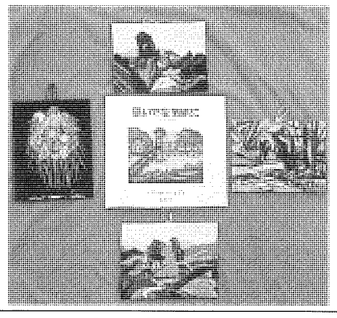
尚、CD・テープの販売その他詳しい事については、片貝まつり実行委員会か片貝商工振興会へ。

布絵作品写真集発刊

片貝出身の和田房枝さんが
先着10名に本プレゼント

片貝町々裏出身の和田房枝さん（東京都千代田区、83）は、このほど趣味の布絵作品の写真集「思いでを布絵に――八十歳の手習い」を自費出版した。

和田さんは昭和二十五年頃から和裁教室に通い、端布を大切にしていた。七十九歳で夫と死別、以来パッチワークや袋物、人形を作り始め、本人は〝八十の手習い〟と称している。また、六十歳代から難聴に苦しみ、七十歳で聴力を失い、家庭とは筆談で意志のやりとりをしているが、自然外出が少なくなり、布を友として過ごすことが多くなっているとのこと。



なお、同作品集は実弟の一之町一区・安達保氏宅（☎84―2583）で、先着10名にプレゼントする。

読みきかせ

小学校低学年を主な対象に、絵本や紙芝居の読みきかせのボランティア実施の「読みきかせ会」の8月の活動予定は、2日㈬午前9時45分から、浅原神社境内（緑陰移動図書館も同時開催）、12日㈯午前10時～、18日㈮午後3時30分～の、二回いずれも片貝ふるさと会館で開催。

リサイクル

リサイクル資源の再利用を目指して地道な活動をしている、リサイクルかたかいは、6日㈭午前9時から9時30分まで、収集活動を片貝支所前で実施する。発泡スチロールトレイ、ダンボール、乾電池、ボロ布、新聞紙、雑誌、チラシ、わりばし等。

民踊教室開催中

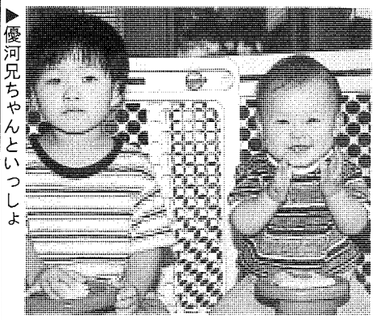
片貝公民館主催（協力団体＝片貝民踊の会、JA片貝女性部、さつき会、ちどり会、ヤヨイ大学民踊部、めぐみ会）の「片貝地区民踊教室」が去る7月26日から開催されている。

今月も4日㈮と22日㈫の二日間午後7時30分から9時まで片貝スポーツセンターで開催される。踊りの指導は安達良太氏で、佐渡こいおけさ、帆柱起し音頭、男三三七拍子などを習う。申し込みは当日会場で受け付け。参加料は無料。参加希望者はうちわ、手ぬぐいを持参の上、必ず運動靴で会場へ。

ハローベイビー

○小宮陸（りく）ちゃん（一之町五区）
パパ**悦男**さん（32才）
ママ**美恵子**さん（33才）
第2子次男
平成11年8月4日生
現在の体重9.4kg身長73cm

Q名前の由来
A地にちゃんと足をつけ歩んでほしいなぁと思い名付けました。
Qお子さんの様子
Aお兄ちゃんが大好きでくっついては、まねをし遊んでいます。
Qどんな子に育って欲しいですか
A人に迷惑をかけない思いやりのあるやさしい子に育って欲しいと思います。



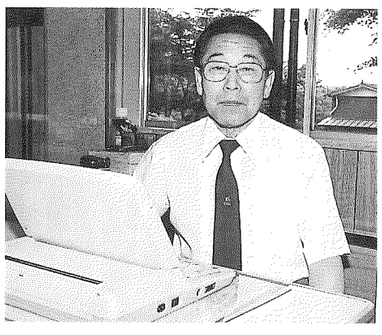
▶優河兄ちゃんといっしょ

片貝ヒューマンウォッチング
デイホームの中村さん

今春4月からデイホームかたかいの援助員となった中村勇二氏（66、三之町）に登場していただいた。

刈羽郡小国町新町出身、藤文を退社後、6カ月間長岡職業訓練校で電子制御の技術を学ぶ。平成7年4月から片貝支所管理人となり、今年3月定年退職。

デイホームかたかいの援助員としてまだ数カ月ではあるが「デイホームかたかいの事業目的は、60歳以上の人を対象に、心身機能虚弱となった人達への支援と、各年代との交流を図りながら〝共に支え合う福祉社会作り〟が目的。高齢者の情緒の安定、孤独感の解消、仲間作りを図り、家庭の融和を第一とし、ひいては明るい片貝町作りに貢献することが理想」と大きな夢を踏まえながら熱く語る。そして「一人でも多くの人からデイホームかたかいを利用していただき、若い人も関心を持ち見守っていただきたい。一歩一歩地道な活動により、片貝町民に喜ばれるデイホームかたかいとなるよう努力したい」と結ぶ。



片貝町に対しては？の質問には「将来の町づくりのきちんとした青写真が欲しい。また、若者がUターンするまちを望む」。片貝まつりについては「巨大化したはいいが、これからの少子社会の対応が不安。また、町外からくる人達が残したゴミの山を何とかしなければ。原点の町民が楽しむ町民のまつり、を考えるべきでは」と語る。

趣味は謡曲と陶芸。